



### 「合理的配慮」をご存知ですか。

相談室「青空」カウンセラー 伊藤 充

令和6年4月から障害者差別解消法が改正され、事業者による障害(身体障害・知的障害・発達障害を含む精神障害)のある人への合理的配慮の提供が義務化されます。事業者とは会社やお店はもちろん、学校もボランティアグループも指しています。障害のある人への障害を理由とする不当な差別的取扱いを禁止し、障害のある人から申し出があった場合に、負担が重すぎない範囲で「合理的配慮」の求めに応じることで共生社会を実現することを目指しています。

では合理的配慮とは何か?なのですが、具体例で言えば障害のある人の障害特性に応じて座席を決める、意思を伝えあうために絵や写真、タブレット端末を使う、段差があるときにスロープを使って補助する、などがあげられるでしょうか。そうした風景は最近では駅でもお店でも割合よく見かけますよね。これはできて、でもこれは全部は叶えられないがこ

の代替案はどうだろうかといった「建設的対話」が必要だとされていて、その際には「前例がありません」「特別扱いできません」「もし何かあったら…」などの言い方は避けましょうと内閣府のリーフレットにありました。〈参照:リーフレット「令和6年4月1日から合理的配慮の提供が義務化されます!」-内閣府(cao.go.jp)〉障害のある人への配慮はつまるところ、障害のない人にも生きやすい社会の基礎を築くことになるのだと思うのです。

この春、新しい場所で、新しい学年でスタートを切る生徒の皆さん、その保護者の皆さん。どんな第一歩を踏み出すにせよ、大切なのは自己理解、そしてもし自分だったらと置き換えて考えることのできる他者理解かと思えます。そして権利には必ずや義務も伴うことをお忘れなく。

ご心配なことがありましたら、いつでもどうぞお気軽にご相談ください。お待ちしております。

- 生徒支援室 TEL.024-956-8852
- 分室「青空」(保健室内…カウンセラー常駐) TEL.024-956-8850

### 退職教職員



川崎 佳宏 [英語科]

長い間大変お世話になりました。大過なく教員生活を送れたのも周りの先生方のご理解とご協力のお陰であると思っております。日大東北高校と日本大学の今後のますますのご発展を心から祈っております。Go for it!



佐野 慶一郎 [数学科]

少しでも数学の楽しさが伝わらいいなと思いつつ、皆さんと一緒に数学を勉強してきました。知らなかったことが分かるようになる楽しさをどんどん味わってください。知的「ワクワク」パワーで、いや数学的に「0909」パワーで人生を楽しもう。君たちとの出会いに感謝!



大木 哲男 [数学科]

礼儀正しい日高生。廊下等ですれ違うあいさつをする。非常に気持ちいい。これからは、日高生の活躍を新聞、テレビ等で見て応援したいと思います。ありがとうございました。



齋藤 直樹 [保健体育科]

私が人生の中で大切にしていることは2つあります。それは、「出会い」と「感謝」です。皆さんとの出会いというご縁と共に過ごした日々感謝し、これからも頑張っていきます。2年間ありがとうございました。



坂本 由宇子 [英語科]

「うさぎとカメの物語でどうしてウサギは負けたのでしょうか?」との問いに「カメはゴールを見ていたがうさぎはカメばかり見ていたから。」という答があるのをご存じですか。高き峰を目指し着実な歩みを進められますように。応援しています。



高橋 佑輔 [数学科]

初めての教員生活が日大東北での2年間でした。周りの先生方や生徒たちに支えられ、充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました!! 「学ぶ」を楽しんでいきましょう!

### クヴァジェ寿郎武先生 逝去

計  
報

「ニチコウの生徒と、また一緒に授業をやりたい。」という気持ちを支えに、闘病生活を送っておいりましたクヴァジェ寿郎武先生が、2023年9月5日帰天されました。

9月7日カトリック郡山教会において、先生を慕う大勢の方々に見守られて葬儀のミサが行われ、皆で祈りを捧げました。

いつも軽快なジョークで、周りを楽しませてくれた先生のお人柄にふれ、感謝の言葉しかありません。

8月19日、自宅に戻られた寿郎武先生のお見舞いに伺いました。先生は、ストローで麦茶を飲みながら甲子園の土浦日大の試合をテレビ観戦していました。「ニチコウががんばれ。ニチコウはみんな仲間。」そして、イタリアで生まれてフランスに移った生い立ちのこと。ワインとホームパーティが大好きだということ、楽しそうに話されました。

今頃、大好きなワインを飲みながらホームパーティを開いていることでしょう。

安らかなお眠りをお祈り申し上げます。

教頭 花里 昌昭



クヴァジェ  
寿郎武先生(英語)  
享年62歳

1998年4月から2023年9月  
(在職24年6ヶ月)

### 日本大学東北高等学校

Nihon University Tohoku High School

T963-1165  
福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地  
TEL.024-956-8840 FAX.024-956-8873  
https://www.tohoku.hs.nihon-u.ac.jp

編集  
後記

本誌発行122号となりました。卒業証書授与式が工学部大講堂で行われ、516名が巣立っていきました。大きく逞しく成長した卒業生の姿に改めて感動し、素敵な笑顔が溢れる素敵な卒業式でした。発行にあたり、多くの方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。

# きらめけ日大東北



ロハスプレゼン 学部長賞を受賞した探究班の生徒と、指導した工学部教授の森英嗣先生

## 期待されるロハス探究活動

例年のお正月であれば、初日の出を見ることができた喜びや、にぎわう初詣の様子など、穏やかな新年の話題がテレビの画面から伝えられるものですが、今年のお正月は違いました。

元日には、最大震度7の強い揺れが能登半島を襲い、輪島塗や朝市などで知られる伝統的な北陸の街並みや、由緒ある建築物は一瞬にして崩壊し、同時に多くの尊い人命が奪われました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方々に、心からのお見舞いを申し上げたいと思います。

現在、国を挙げての復旧活動が進められていますが、一日も早く被災地の状況が好転し、復興されることを願わずにはられません。本校で学ぶ生徒の皆さんは、被災地福島で東日本大震災を経験した一人です。あのときは皆さんもまだ幼く、大人に守られていた存在であったと思います。でも今は16歳から18歳の成年となり、しっかりとした判断力を持つ若者になりました。これからは皆さんの側が、被災された地域の人々の気持ちに寄り添い、復興への長い道のりに対して、自分自身がどのような形で協力できるか、その課題を考えていく番であると思います。

大学に進み、地域の防災や、都市計画の勉強を進めていくこともその一つであるし、看護師の道を目指して、医療の面から貢献することも、協力の方法としてあると思います。つまりこれからは、与えられた地図をそのとおりに歩くのではなく、いろいろな専門分野を組み合わせ、それを連携させて、新しい地図(つまり、まだ答えのない課題)を見つけ出し、その解決に挑戦していく姿勢が大事です。本校の「総合探究」の時間

は、その基本を勉強する大切な時間として位置付けられます。

2月21日(水)、本校SAKURAホールにおいてロハス探究活動本選発表会が行われ、次のテーマで発表が行われました。

- 1)「海洋ゴミをなくすには」(土木工)
- 2)「地震に強い建築をするには」(建築)
- 3)「二酸化炭素は燃料や私生活に活用できるのか?」(機械工)
- 4)「人工知能を動植物にのせるには」(電気電子工)
- 5)「植物に感情はあるのか?」(生命応用)
- 6)「ドラえものの作り方」(情報工)
- 7)「頭に残るメロディーの特徴と消し方」(総合教育)
- 8)「睡眠の質を高めるには?また、短時間の睡眠で疲れをとるためにはどうしたら良いのか?」(総合教育)



学校長 佐々木 稔

ほか、翌22日には文系クラスからの研究発表も行われました。

震災からの復興途中にある福島。そこに生きる生徒のやさしさから生まれた発想は、今後必ずや形となって、能登半島地震からの復興の実現をはじめ、様々な分野に活かされていくことでしょう。日大東北高校と日大工学部とのロハス探究活動。始動から3年目を迎えますが、これからもさらなる発展・充実が期待されています。



イベントカレンダー  
Event Calendar  
2024

**1月** January

- 9日(火) 冬期進学講座(Ⅱ1・2年)/
- ～10日(水) 冬期特別補習(Ⅱ3年)
- 11日(木) 3学期始業式  
大学入学共通テスト激励会(Ⅱ3年)  
強化部集会  
進路ガイダンス(1年)
- 13日(土) 大学入学共通テスト
- ～14日(日) ベネッセ総合学力テスト(Ⅱ1・2年)
- 20日(土) 第3回漢検
- 21日(日) 第3回英検
- 21日(日) 三者面談(3年)
- ～31日(水)
- 23日(火) 本校学業推薦入試
- ～24日(水)
- 25日(木) 本校一般入試/体育推薦入試
- 27日(土) 全統高1模試(Ⅱ1年)
- ～28日(日) 全統共通テスト模試(Ⅱ2年)

**3月** March

- 1日(金) 賞状授与式  
卒業式予行演習
- 2日(土) 第71回卒業式
- 4日(月) 3学期期末試験
- ～7日(木)
- 12日(火) 進学講演会(2年)
- 13日(水) 春期特別授業
- ～15日(金)
- 18日(月) 進学講演会(Ⅱ1年)  
スタディーサポート(1・2年)
- 19日(火) 3学期終業式  
大掃除
- 21日(木) 新入生登校日
- 22日(金) 新入生スタディーサポート
- 25日(月) 8時間耐久自学
- 25日(月) 自主登校
- ～30日(土)

**2月** February

- 3日(土) 教育講演会(2年)  
日大チャレンジ模試(Ⅱ1・2年)
- 3日(土) ベネッセ共通テスト模試1(Ⅱ2年)
- ～4日(日)
- 10日(土) 教育講演会(1年)
- 14日(水) 薬物乱用防止講演会(1年)
- 17日(土) 第2回数検
- 21日(水) ロハス探究プレゼン大会

新2・3年生へ4月の行事予定

**4月** April

- 6日(土) 第74回入学式
- 8日(月) 対面式・着任式・始業式  
体育クラス集会
- 9日(火) 成果テスト(2年)  
校内オリエンテーション(1・2・3年)
- 10日(水) LHR  
健康診断・身体測定・歯科検診(2年)  
3年自宅学習日  
進路ガイダンス[学問探究](2年)
- 11日(木) LHR  
健康診断・身体測定・歯科検診(3年)  
2年自宅学習日
- 12日(金) 春期特別指導(午前)
- ～15日(月)
- 12日(金) ベネッセ総合学力記述模試(Ⅱ3年)
- ～13日(土)
- 15日(月) 日本大学基礎学力到達度テスト試験会場設営
- 16日(火) 学内閉鎖日
- 17日(水) 日本大学基礎学力到達度テスト(1・2年)  
3年休講日
- 18日(木) 日本大学基礎学力到達度テスト(3年)  
1・2年休講日
- 19日(金) 平常授業(1時間目に自己採点)
- 20日(土) 休講日
- 24日(水) シェイクアウト訓練
- 27日(土) 学級懇談会
- 28日(日) 全統共通テスト模試(Ⅱ3年)
- ～29日(月・祝)

令和5年度 第71回  
卒業証書授与式

令和6年3月2日(土)午前10時より、日本大学工学部大講堂で「第71回卒業証書授与式」を行った。  
今年度は516名の生徒が卒業し、卒業生総数も38,897名となった。  
式では、卒業証書授与に引き続き「日本大学学長賞」5名および「日本大学東北高等学校校長賞」1名の受賞者に賞状と記念品が贈られた。  
その後、校長式辞や在校生代表送辞、卒業生代表答辞があった。  
卒業生は3年間の学校生活を振り返りながら、4月からの新生活へ期待を膨らませているようだ。



卒業生一同



卒業証書授与 卒業生代表 渡辺愛友里さん



卒業生退場



6組



3組



3組



3学年教員団



7組



## 送辞

厳しい冬の寒さの中にも、春の訪れを感じることでできる季節となりました。本日、晴れてこの日本大学東北高等学校で卒業式を迎えられた第七十一期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝いを申し上げます。

思い返すと先輩方はいつも私たちの背中を優しく押してくださっていたことに改めて気づきます。不安で一杯だった一年生の春、先輩方は優しく私たちを導いてくださいました。私たちにとって先輩たちは憧れであり、頼りとなる存在でした。そんな先輩方から私たちは多くのことを学ばせていただきました。最も印象に残っているのは、先輩方の何事にも真面目に、全身全霊で取り組む姿です。夏の文化祭では、全クラスが工夫を凝らし、毎日遅くまで道具作りや練習をしていらっしやる姿を見てきました。三年生になってからも受験勉強や部活動に忙しい中、準備も疎かにせず取り組んでいる姿を見て、心動かされました。文化祭当日は仲間と一致団結して一つのことを創り上げることの素晴らしさを実感させていただきました。

部活動、生徒会活動では、私たちが先輩方の引退の時が来て不安を隠せない時、笑顔で励ましてくれました。あの笑顔を私たちは忘れません。私たちはそれを励みとし、今でも部活動、生徒会活動に全力で取り組むことができている。

そして、受験期にはバスや電車で英単語帳を見たり、図書館でひたすら問題演習をしたり、ひたむきに勉強に励む先輩方の姿からは、夢に

向かって頑張る強い意志を感じました。私たちが先輩方を見習い、絶対に夢をかなえてやるという気持ちになりました。どんな状況でも目の前のことに真面目に取り組み、笑顔を絶やさず努力する、そんな先輩方のようにになりたいと思うようになりました。

先輩方はいつだって私たちの目標でした。本当に感謝しています。

今、卒業生の皆さんは、この日本大学東北高等学校での三年間をどのように振り返っておられるのでしょうか。何気ない日々の中で、かけがえのない貴重な体験をし、数えきれない思い出を作られたことと思います。これから社会に出る方、大学に進む方、それぞれが自分の選んだ道を進まれると思います。そこで想像を超えるような困難が立ちふさがり、挫折を味わうかもしれません。諦めたいと思うかもしれません。そんな時は日本大学東北高等学校で仲間たちと過ごした三年間の日々を思い出してください。文化祭で忙しい中、真面目に準備に取り組んだこと。部活動で目標に向かって奮闘したこと。受験で志望校合格を目指して毎日努力したこと。どんなときも明るく頑張ってきた今までの三年間のこと。高校生活での経験は、必ず困難に打ち克つ力となってくれることと信じています。

最後に、卒業生の皆さまのご健康と、さらなる発展を心よりお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和6年3月2日

在校生代表 遠藤 豊歩



## 答辞

冬の使者である白鳥も羽を休めていた阿武隈川から旅立ち、温かな光を感じるようになりました。

本日はご多忙の中、ご来賓の皆様や教職員、保護者の方々、在校生の皆様にご臨席いただき、華々しく卒業を迎えられることを卒業生一同、心から御礼申し上げます。

通いなれた通学路もすっかり馴染んだ制服も今日で最後になると考えると、思い出すのはこの学び舎に入学した3年前です。これから始まる高校生活に胸を躍らせ、新しい制服を着た姿にときめいていた当時の姿が、まるで昨日の姿のように感じられます。この学び舎で過ごした3年間は、様々な学校行事からクラスメイトとの他愛ない会話に至るまでの全てが、「青春」という人生のページを鮮やかな極彩色で染め上げたようなものでした。

長縄やサッカー、バレーにソフトボールなどの競技にクラスで団結し取り組んだ球技大会、発想を巡らせ自分たちの企画を作り上げたアカンヤ祭、北海道で見た夜景の美しさや広大な大地に感動し、異なる文化に触れた修学旅行。テストに追われ、受験勉強で悩んだ時にも、仲間と励まし合いながら勉強した時間も大切な思い出となって積み重なっていきました。

慣れない環境といつも通り「ではない」状況での生活に慣れようとした1年生。長引く制限下の終わりや将来への目標や希望が見えた2年生。そして「コロナ禍」からの脱却と未来の自分を掴むために奮闘した3年生。刻々と変わっていく世界の中で日常を、青春を追い求めた3年間でした。

新たな日常とこれまでの日常が混ざり、いつも通りが形成されてゆく、ある意味で世界の転換期と言えるこの時期に、高校生活の終わりを迎えます。この学校で抱いた思想は、社会に揉まれる中で打ち砕かれたり、変容したりすることがあるでしょう。それでも、私たちは、未来を見据え、新たな目標を掲げ、その先へ進んでいく強い思想を持って歩んでいきます。

先生方には学校生活を始め、学習や進路など様々な分野でアドバイスをいただき、困っている時には一緒に考え、多くの可能性を示し、私たちが一人の大人となるために必要なことを教えていただきました。今こうして卒業生としてここにいられるのも先生方のおかげです。3年間、ありがとうございました。

在校生の皆さん、先ほどは素晴らしい送辞をありがとうございました。皆さんには部活動や委員会、文化祭や体育祭などの学校行事でたくさん支えていただきました。生徒会の後輩たちにも助けられ、先輩である私たちが気づかされることもありました。皆さんのおかげで、私たちは「先輩」でいられたのです。ありがとう。これからの日々を後悔なく過ごすとともに、日大東北を皆さんの手で発展させてくれることを期待しています。

お父さん、お母さん、二人がこれまで私たちを支えてくれたおかげで、今日、無事に卒業を迎えることができました。私の前を行く父の大きな背中と毎日のお弁当でそっと背中を後押ししてくれる母の手があったからこそ、不安やプレッシャーを乗り越えてここまで来られたのだと思います。二人には今、私たちの後ろ姿はどんな風に映っているのでしょうか。中学校を卒業した時よりも大きく、広く、遅いものになっているのでしょうか。18年間、本当にありがとう。そしてこれからの数十年を進みゆく私たちが、自慢の息子、娘だと胸を張って言ってもらえるよう精進していく私たちを、どうか温かく見守ってください。

最後になりますが、私たちの高校生活に関わった全ての人との出会いは、偶然であり、必然です。どれか一つでも欠ければ今の私たちはありません。その運命を感じ、ここに感謝と敬意を表するとともに、日本大学東北高等学校の更なる発展を祈願し、答辞とさせていただきます。

令和6年3月2日

卒業生代表 大竹 宏武



## 初めての卒業式を終えて

### 輝きのその先へ

「全身全霊、最後まで輝こう!Aqours (アクア)!」「サンシャイン!」2年前に私が初めて出会った生徒には期待と不安の表情が見られた。しかし2月17日の予餞会。この日の生徒の表情は輝きと希望に溢れた笑顔であった。私は予餞会においてステージ発表を行った。披露した曲は「WATER BLUE NEW WORLD」。この曲は「ラブライブ!」という作品の中で登場した曲だ。作中においてこの曲は「この瞬間に別れを惜しみながらも、自分たちの輝きを残し、前へ進む者へ決意を与える」というメッセージがある。卒業を間近に控えた生徒へ最大限の餞を送りたいと考え、ステージ発表するにいたった。迎えた本番、ステージから見た生徒の笑顔・歓声・光るペンライト、私が初めて送り出す卒業生が新卒として教員を始めた私に全力で声援を送ってくれた。その瞬間私は確信した。「みんな旅立ちの覚悟はできている。だからこの瞬間、輝いているんだ」と。

そのせいか卒業式を終えた今、別れや悲しみの感情よりも、将来への夢と期待を抱き旅立っていく生徒を送り出せた喜びの方が大きい。そして卒業式当日も普段通り挨拶を交わし、新天地への希望を膨らませ最高の笑顔と共に旅立った生徒の表情が忘れられない。僅か2年であつという間に成長していく生徒。友と笑い、時には悩む生徒の姿が、私の中でかけがえのない思い出であると同時に、私も生徒によって成長させられたと感じている。また生徒だけでなく未熟な私を支えて下さった保護者・教職員の皆様に御礼申し上げます。改めて3年生の皆さん卒業おめでとう。そして3年4組のみんな、「世界一の輝きをもつクラス」の担任にしてくれてありがとう!

目標に向かってSTART:DASH!!

叶え!みんなの夢—  
3年4組担任 鈴木翔太先生



アカンヤ会  
スポーツ・文化  
功労賞

同窓会  
三世代賞



アカンヤ会  
学業努力賞

## 賞状授与式

令和6年3月1日(金)、日本大学工学部大講堂にて、翌日行われる第71回卒業証書授与式に先立ち各種表彰の賞状授与式が行われた。日本大学優秀賞1名、優等賞28名、皆勤賞67名、精勤賞132名、生徒会功労賞57名、努力賞28名、日本私立中学高等学校連合会会長賞、県私立中学高等学校保護者会会長賞、高校生新聞社賞、本校同窓会より「三世代賞」5名、「アカンヤ会スポーツ・文化功労賞」38名が表彰された。おめでとうございます。

※( )は出身中

### 日本大学学長賞(学業部門)

磯海 瑛斗(高瀬)

### 日本大学学長賞(体育部門)

曲山 純平(福大附属) 須藤 巧(棚倉)  
西川 炎歩(安積) 秋葉 大地(上市市立北)

### 日本大学優秀賞

三宅 花音(郡山四)

### 日本大学東北高等学校校長賞

小室 陽詩(中島)

### 優等賞

浅倉 七星(信夫)	清野 天治(守山)	大武 瑠那(西袋)
棚木 成伊(喜多方)	吉田 美緒(郡山六)	中山 和奏(高瀬)
矢吹 彩(日和田)	七海 天宥(郡山一)	佐藤 美暖(仁井田)
浜野和美咲(本宮一)	山寺 優成(郡山ザベリオ)	先崎 光祐(緑ヶ丘)
古川 裕菜(郡山ザベリオ)	小林 真大(白河中央)	大竹 宏武(郡山七)
伊藤美由香(明健)	小林 颯太(仁井田)	菊池 真緒(郡山四)
塩澤 悠翔(富田)	佐藤 杏(郡山一)	沼田 星那(白河南)
蓮沼 玲菜(郡山一)	大堀 莉心(郡山二)	佐藤 蒼(大東)
渡辺愛友里(本宮一)	橋本 歩実(西田学園)	
秋野 陽斗(明健)	氏家 和璃(小原田)	

### 日本私立中学・高等学校連合会会長賞

大竹 宏武(郡山七)

### 福島県私立中学・高等学校保護者会会長賞

沼田 星那(白河南)

### 同窓会三世代賞

鈴木 柚羽(2組) 高橋 翼(8組) 遠藤 優衣(12組)  
馬場妃奈乃(5組) 陰山 桃華(9組)

### アカンヤ会学業努力賞

横田 結衣(1組) 矢吹 彩(2組) 坂本奈都子(5組) 長沼 亨成(12組)  
菅野 大和(2組) 蓮沼 玲菜(4組) 松野 凌大(6組)  
塚野 遼祐(2組) 熊谷 空(5組) 森合 咲心(11組)

### アカンヤ会スポーツ・文化功労賞

工藤 心暖(1組)	黒川 莉織(2組)	村田 裕加(4組)	齋藤 陽向(8組)
小針 幸誠(1組)	佐久間光琉(2組)	大和田歩華(5組)	須藤 巧(9組)
佐藤慎之助(1組)	高橋 りょう(2組)	鈴木 陽菜(5組)	佐藤 悠(10組)
佐藤 悠佑(1組)	西川 炎歩(2組)	御代田琉加(5組)	鈴木瑠璃子(10組)
槌谷 蒼太(1組)	芳賀 秀哉(2組)	大和田雄大(6組)	藤田 抄己(10組)
新妻 大希(1組)	吉成 優奈(2組)	工藤 礼暖(6組)	秋葉 大地(11組)
堀米 涼太(1組)	遠藤 奨汰(3組)	鈴木 志門(6組)	中山 和奏(11組)
曲山 純平(1組)	古川 裕菜(3組)	坂内 優太(6組)	橋本 夢芽(14組)
三宅 花音(1組)	安田 悠人(3組)	菊地 瑛介(7組)	
箭内 洸斗(1組)	山口 ありす(3組)	家久来 蒼(8組)	



2.22Thu 令和5年度 日本大学付属高等学校等 第40回文芸コンクール

- 小説  
特選 2年13組 小堀 紬榎  
入選 2年12組 上遠野 敬  
佳作 1年12組 円谷 百花
- 俳句  
入選 2年11組 藤原 由衣  
佳作 2年 7組 迎 彩花



3.19Tue 令和5年度 校内文芸コンクール

- 俳句  
最優秀 2年 5組 木村 真心  
優秀 1年 7組 石井 万結  
2年11組 嶋崎 桃花  
佳作 1年 7組 浅野 優梨  
1年 7組 五十嵐ふわり
- 小説  
最優秀 2年13組 熊田美衣那  
優秀 1年11組 糠澤 凜  
1年11組 根本 夏海
- 詩  
最優秀 2年12組 穂積 日向  
優秀 1年 3組 根本 唯花  
2年10組 高木 美優

読書感想文

- 最優秀 2年12組 穂積 日向  
優秀 1年11組 宗像 茉実  
1年12組 片山 歩美  
佳作 1年 4組 石川 愛  
1年12組 秋庭 琴
- 小説  
最優秀 2年13組 熊田美衣那  
優秀 1年11組 糠澤 凜  
1年11組 根本 夏海

小説

- 最優秀 2年13組 熊田美衣那  
優秀 1年11組 糠澤 凜  
1年11組 根本 夏海

詩

- 最優秀 2年12組 穂積 日向  
優秀 1年 3組 根本 唯花  
2年10組 高木 美優

12.22Fri クリスマスフェスタ

SAKURAホールにて、吹奏楽部・合唱部・弦楽部によるクリスマスフェスタが行われた。「あわてんぼうのサンタクロース」や「クリスマス・イブ」など数々のクリスマス曲が披露され、多くの生徒たちを楽しませた。



2.25Sun 合唱部定期演奏会

須賀川市文化センター大ホールにて、第2回定期演奏会が開催された。「明日へ続く道」をテーマに音楽劇なども取り入れ、工夫を凝らした演出で会場を盛り上げた。また「いい日旅立ち」「雲のかなた」を谷村新司さんへ感謝の想いを込めて演奏した。ご来場くださった皆様、ご協賛賜りました皆様、ありがとうございました。



2.17Sat 予餞会

卒業する3年生を送る予餞会が実施された。今回は、3年生を会場に収容し5年ぶりに本校記念体育館での実施となった。(1、2年生は各教室にてLive配信による鑑賞)ステージ発表では、吹奏楽部や合唱部の演奏をはじめ、各部のダンスやコントなど、3年生への感謝の気持ちが込められた発表があり、大盛況であった。



2.14Wed 薬物乱用防止教室

1学年を対象に、薬物乱用防止に関する講演会をSAKURAホールにおいて実施した。講師に、寿泉堂松南病院看護係長川島新先生をお招きし、薬物乱用問題に関する正しい知識を身に付け、アルコールやカフェインへの依存と危険性について理解することを目的として講演していただいた。身近なエナジードリンクの依存について知り、早い段階からアルコールの危険性を理解することが大切であると実感した。



3.1Fri 卒業生を祝福 サプライズゲストAMEMIYAさん来校

賞状授与式(P5参照)終了後、翌日に挙行される卒業証書授与式の予行演習が行われた。予行演習終了後、軽快なギターのリズムでサプライズゲストAMEMIYAさんがステージに登場すると卒業生たちの大歓声が上がった。AMEMIYAさんはおなじみの「冷やし中華はじめました」や「日大東北あるある」を卒業生のはなむけに披露してくれた。卒業生にとって良い思い出となった。



卒業生に熱いエールを！サプライズゲストAMEMIYAさんと

2年生Iコースの探究活動報告

今年度の2年生のIコースの「総合的な探究活動の時間」では、6月から2月にかけて、クラス間の垣根を取り払い、自分たちの取り組みたいテーマごとのクラス混合グループでの探究活動を行いました。活動時には「ファシリテーター」の方々にアドバイスをいただきました。特に、理系の「ロハス探究活動」では工学部の先生方に指導をいただきました。その探究活動のまとめとして文系は「総合探究プレゼン大会」、理系は「ロハス探究プレゼン大会」を開催しました。このプレゼン大会では、文系32班、理系38班の計70班、402名の生徒たちが1月に動画の発表を行い、その中から選ばれた13班(文系6班、理系7班)が代表として口頭発表を行いました。1年生Iコースの生徒たちも理系の「ロハスプレゼン大会」をZoomでライブ視聴し、オーディエンス賞の審査にかかりました。



ロハスクラス担当 佐藤 陸浩



理系「ロハス探究プレゼン大会」2月21日(水)発表班

探究班学科	探究班 生徒クラス	プレゼンテーマ	ファシリテーター名	受賞
土木工	10、11組	海洋ゴミをなくすには	金山 進	校長賞
建築	6、7、9、11組	地震に強い建築を作るには	日比野巧・堀川真之	2学年主任賞
機械工	7、8組	二酸化炭素は燃料や私生活に活用できるのか	井口 史 匡	優秀賞
電気電子工	6、7、11組	人工知能を動植物にのせるには	村山 嘉 延	優秀賞
生命応用化	6、7、9、10、11組	植物に感情はあるのか	岸 努	優秀賞
情報工	7、8、9組	ドラえものの作り方	米澤 直 晃	優秀賞
総合教育理系クラス	6、7、8、9、10組	頭に残るメロディーの特徴と消し方	森 英 嗣	学部長賞・オーディエンス賞
総合教育文系クラス	1、4、5組	睡眠の質を高めるのは?また、短時間の睡眠で疲れをとるためにはどうしたら良いのか?	中野 浩 一	優秀賞

文系「総合探究プレゼン大会」2月22日(木)発表班

探究班 生徒クラス	プレゼンテーマ	ファシリテーター名	受賞
1、4、5組	睡眠の質を高めるには?また、短時間の睡眠で疲れを取るためにはどうしたら良いのか?	中野 浩 一 (日大工学部)	優秀賞
4組	伝統工芸の歴史と未来	石島次郎 (日大東北高校)	2学年主任賞
2組	親から子へのくらしの伝承するのから〜病気〜	中山 智 祥 (日大医学部)	総合探究委員長賞
2、3、5組	睡眠不足を睡眠を取らずに改善する方法	草野 陸 (日大東北高校)	優秀賞
4組	地球温暖化を短期的に食い止める方法	原健一・高橋直之 (日大東北高校)	優秀賞
1、5組	高校生が世界を変えることはできるのか?	山本大智 (日大東北高校)	校長賞・オーディエンス賞



## 教務部だより

### 令和5年度特別講座 (Iコース3年) について

毎年、卒業を控えた3年生 (Iコース) を対象に「特別講座」を開講しています。令和5年度は1月12日～19日の午後に開講しました。特別講座は『学内講座』と『出前講座』の2つから構成されています。『学内講座』では本校の教員が講師となり、各教科の特性を生かしつつ、通常の授業では学ぶことが難しい幅広い教養を身につける機会を提供しています。『出前講座』では、外部機関から講師の先生をお招きし、「成年年齢」が18歳に引き下げられたことを踏まえ高校卒業前に理解すべき知識・教養についてご講演いただいています。今年度の各講座の詳細については下の表をご参照ください。

生徒たちはどの講座にも興味をもって取り組んでいました。各講座でご講演いただいた先生方には心より感謝申し上げます。

#### 令和5年度「出前講座」一覧

日付	講座名	内容
1/12(金)	SDGsってなに?	SDGsについて学び、世界・日本・郡山市での取り組みなどを紹介します。
1/15(月)	薬物乱用防止について	違法薬物・危険ドラッグの被害に遭わないように正しい知識を身につける講座です。
1/16(火)	青春講座	性に関する大切なお話です。
1/17(水)	手話を学ぼう!!	簡単な手話講座を実施し、体験を通して手話を使う人について理解を深めます。
1/18(木)	大人になる君へ ～18歳、成年の心得講座～	お金やクレジットカード、契約についてなど、消費者トラブルに巻き込まれないために役立つ講座です。
1/19(金)	選挙に関する講座	選挙と日常生活との関わりや選挙権についてなど、若年層向けに選挙への興味関心を深めてもらいます。



教務部主任  
秋山 浩樹

#### 令和5年度「学内講座」一覧

授業名	講師名【教科】	授業名	講師名【教科】
日大東北高校選書ツアー	大野【国語科】	工学部進学者向けの基礎数学(微分編)	田崎【数学科】
ハングル講座 初級編	高橋(敏)【国語科】	工学部進学者向けの基礎数学(積分編)	田崎【数学科】
ハングル講座 中級編	高橋(敏)【国語科】	化学実験(高分子化合物の合成)	高橋(護)【理科】
ハングル講座 上級編	高橋(敏)【国語科】	生物学実験(豚眼の解剖)	宮川【理科】
裁判傍聴	中村(猛)【地歴公民科】	JKビジネスの被害にあわないために	早田【保健体育科】
地方都市の活性化について～沼津市を例に～	鈴木(翔)【地歴公民科】	英検2級対策講座(リーディング)	英語科教員
アニメから見る日本現代史	鈴木(翔)【地歴公民科】	英検2級対策講座(ライティング)	英語科教員

### 令和5年度 検定試験結果

#### 漢字検定

受検級	2級	準2級	合計
受検者	59	49	108
合格者	6	20	26
合格率	10.2%	40.8%	24.1%

漢検は、漢字を「読む」「書く」という知識量だけでなく、漢字の意味を理解し、文章の中で適切に使える能力も測ることができます。社会人としての基礎基本となる漢字・語彙能力を鍛え、これらを通して物事を考える力を身につけるためにも、積極的に挑戦してみましょう。

#### 英語検定

	3級	準2級	2級	合計
第1回	受検者 32	65	96	193
	合格者 24	32	20	76
第2回	受検者	65	63	128
	合格者	11	17	28
第3回	受検者	103	90	193
	合格者	48	21	69

今年もたくさんの生徒の皆さんが英検を受検しました。来年度から新設級(準2級プラス)が設置され、英作文の出題が各級、1題ずつ追加されることが発表されました。1～2級:要約が追加。準2～3級:Eメール問題が追加。作文の問題数が増えることにより、4択問題のところいくつかの問題が削除されるようです。詳細は英検の公式ウェブサイトで確認してみてください。来年度も多くの皆さんが英検にチャレンジしてくれることを心から期待しています。

#### 数学検定

	3級	準2級	2級	準1級	合計
第1回	受検者 5	15	22	2	44
	合格者 4	8	7	1	20
第2回	受検者 2	5	7		14
	合格者 1	5	3		9

数学検定は基礎レベルの一次試験と応用レベルの二次試験があり、自分の実力を知る上でも大変良い目安となります。数学が好きな生徒は2級以上、そうでない生徒でも準2級以上の合格を目標に取り組みくことで基礎学力の定着に結びつくものと考えています。

本校は工学部の併設校であり、工学部においても「数学力」は必須です。できるだけ多くの生徒にチャレンジしていただき、是非この「数学力」を磨いてほしいと思います。

## 進路指導部だより

### 令和5年度卒業生進路状況 大学合格速報!(令和6年3月11日現在)

# 日本大学 312名合格!

(Iコースから 220名合格!)

## 東北医科薬科大学 医学部医学科 現役合格!

(現役女子)

## 福島県立医科大学 医学部医学科合格!

(既卒女子)

## 東北大(現役女子)・横浜国立大(現役女子) 現役合格!

令和6年3月11日現在の進路状況をお伝えします。日本大学にはIコースから220名、IIコースから92名の計312名が合格しており、学部ごとの合格者数は下表のようになっております。

#### 日本大学各学部合格者数

	法	法2部	文理	経済	商	芸術	医療関係
今年度	17	3	23	15	19	5	18
昨年度	21	4	27	23	19	6	17

	危機管理	スポーツ科	理工	生産工	工	医	歯
今年度	2	0	54	25	101	0	2
昨年度	3	1	38	23	86	0	2

	松戸歯	生物資源科	薬	短期大	通信教育	専門学校	計
今年度	1	18	4	1	0	4	312
昨年度	1	20	1	4	0	5	301

また、東北医科薬科大学医学部医学科や東北大学、横浜国立大学といった超難関大に現役生が合格、福島県立医科大学医学部医学科に昨年度の卒業生が見事合格しました。その他、国公立大学には**福島大学10名、会津大学9名**など計40名が合格しております。一般入試後期日程の結果によりさらに増えることが期待されます。

日本大学以外の私立大学には、**東京理科大学2名、明治大学2名、同志社大学2名、立教大学1名、青山学院大学1名、中央大学2名、法政大学1名、明治学院大学3名、成蹊大学2名、芝浦工業大学4名、東北学院大学23名**など延べ310名が合格しております。努力を重ね志望校合格を勝ち取った皆さんに敬意を表します。

国公立大学の後期日程試験の合格発表は3月20日前後で、まだ入試は終わっておりません。一人でも多くの生徒が希望の進路に進むことができるよう教職員一同しっかりとサポートしてまいります。



## 学年だより

### 1 学年

1学年主任 和泉 賢一



#### 土台づくり、基礎づくり

入学式から1年が過ぎ、時の流れのはやさを実感しています。1年生にとって今年度は、「土台・基礎づくり」の1年間でした。

高校生活は、家を建てる工程によく似ています。「土台・基礎」をしっかりつくる。柱を立てる。屋根、外壁、内装を施し、家が完成する。土台がきちんとしなければ、柱は揺らぎ、家は傾いてしまう。高校生活、卒業後の人生も同様です。

今年度「土台づくり」の具体的な取り組みとして、「学習習慣の構築」を目指しました。2年後の受験に向け、学習習慣の確立は必須です。平日2時間、休日3時間を目標に、学習の土台をつくりました。毎日約200名の生徒がClassi学習記録へ入力を行っています。毎日入力結果を確認しましたが、学習習慣が定着している生徒、定期試験前になると頑張る生徒、部活動との両立や家庭学習がうまくいっていない生徒…。様々な生徒がみられました。

「学習習慣の構築」以外にも、多くの「土台づくり」が行われました。HR活動や学校行事を通して育んだ「協働性」や「コミュニケーション力」、「他者への思いやり」。文理選択を通しての「自己理解」と「将来設計」。普段の授業や総合的な探究の時間を利用して育んだ「探究心」や「多面的なものの見方」、「主体的な学び」。

もちろんこれらは、1年次だけで育むものではありません。しかしこの1年間、どのように取り組み、土台づくりに向き合ったのかは、2年次以降の高校生活そして卒業後の人生に大きな影響を与えます。1年次の取り組みにより、2年次のスタート地点はそれぞれ異なります。1年次をしっかりと振り返り、2年次のスタート地点をそれぞれが認識し、適切にスタートできることを願います。

今年度1年間、本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

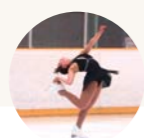
#### 1学年生徒の活躍

##### 高校総体(冬)フィギュアスケート

私は、1月茨城県で開催されたインターハイにフィギュアスケートで出場しました。全国大会に出場するのは初めてであり、とても緊張しましたが楽しみながら滑ることができました。

福島県内のスケートリンクは通年で利用できる施設がなく、練習時間が限られていたため、平日は陸上トレーニングを中心に屋外のスケートリンクで練習をしました。また、週末は県外の施設を利用してインターハイに向けて日々努力を重ねました。今シーズンはもう少しで終わってしまっていますが、いま練習しているダブルアクセルを成功させ、いつかはトリプルジャンプにも挑戦したいと思います。そして、もっとたくさんの大会へ出場して良い結果を残せるように頑張ります。応援、よろしくお願いします!

大原 寧々(小原田中出身)



### 2 学年

2学年主任 川野 貴光



#### 生徒の活躍

2年13組の南梨夢乃さんが、10代が自ら立てた「問い」を探究する「My Inspire High Award 2024」の全国大会に出場しました。Inspire Highとは世界中の想像力と教室をつなぐEdTechプログラムでありIIコースの生徒が総合探究の時間を利用して参加しています。先日、福島県教育委員会も連携協定を締結しました。そのなかで、南梨さんが応募した探究のテーマ「AIと仲良くなるには?」が採用され、全国大会で発表となりました。全国各地から14名が選ばれたなかの1人として、2月17日(土)にオンラインでプレゼンするとともに、資生堂やパナソニックといった多くの企業担当者や、参加者との交流も図りました。南梨さんはプレゼンが高く評価され、企業賞を受賞しました。南梨さんより、この大会に参加しての感想をもらいましたので紹介します。

#### My Inspire High Award 2024 全国大会出場

自分なりの「問い」を立て、探究する「My Inspire High Award 2024」で全国大会に出場し、企業賞を受賞しました。私はAIロボットに興味があり、AIと人間がこれからの世の中でどう関わっていくべきかについて探究しました。独自の探究テーマから自分なりの結論を出すことは困難でしたが、自分の「好き」について深掘りし、その成果を多くの人に共有でき、とても貴重な経験でした。また、他の受賞者の素晴らしい発表から今まで自分になかった新しい学びを得ることができました。この経験を活用し、これからの探究活動に励みたいと思います。



2年13組 南梨 夢乃 (富田中出身)



## 部活動報告

### ラグビーU-18 合同チーム東西対抗戦

ラグビー部 菊地 瑛介(須賀川二中出身)

「U18合同チーム東西対抗戦」が2024年1月5日に大阪の花園ラグビー場で開催されました。この試合は、全国の合同チーム(選手が15人に満たないチーム)から選出された高校ラグーマンが東軍と西軍に分かれ、憧れの「花園」でプレーすることができる、夢のような試合です。この夢の舞台に、本校から菊地瑛介君(3年)が東軍として出場しました。試合は序盤から熱い試合展開となり、試合終了間際で逆転した東

軍が29-24で試合に見事、勝利しました。この試合に菊地君は前半途中から出場し、日頃の練習で培ったパワーと巧みなスキルを遺憾なく発揮しました。

日本大学東北高等学校ラグビー部は今年度、単独チームとしての花園出場(全国大会出場)は叶いませんでしたが、本校の生徒が高校ラグーマンの聖地である「花園」の地を踏むことができたことを心から嬉しく思います。また、元旦に起きた石川県能登半島地震の影響により、試合の開催が危ぶまれましたが、大会関係者のご尽力により試合を行うことができました。大会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



### 室内陸上2024 U-20 走り幅跳び

陸上競技部 曲山 純平(福大附属中出身)

先日、私は日本選手権室内大会U20走幅跳で優勝することができました。この大会は私にとって高校最後の大会でしたが、全国優勝という形で終わることができ嬉しく思います。

私は一昨年、同大会のU18カテゴリで、全国大会で初優勝しました。それ以来、インターハイや国体、U18・U20日本選手権で常に全国優勝を目指して頑張ってきましたが、それらの大会では国体の準

優勝が最高順位となり、思った結果を出すことができませんでした。今回の大会も試合の前日まで調子が悪く、優勝などの結果を求めずに、高校最後試合を楽しもうと考えながら試合に臨みました。その姿勢が、私を優勝に導いてくれたと思っています。

日大東北高校には3年間本気で陸上に打ち込める環境と、体育クラスでしかできない経験がありました。日本一に導いてくれたこの環境を離れ、私は大学に進学し、世界大会を目指してこれからも頑張っていきます。これからも応援よろしくお願います。



### ジュニア日本代表選手団として 国際遠征に参加

水泳部 渡部 竣也(郡山一中出身)

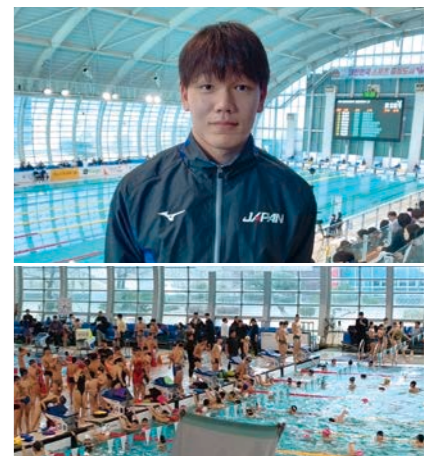
この度日本水泳連盟より2023年度ジュニアブロック韓国遠征派遣選手団に選出され、2024年3月13日~3月17日に韓国で開催された第14回金泉全国水泳大会に100m・200m背泳ぎに出場しました。

私自身初の日本代表ということでとても嬉しかったです。また初の海外遠征の為にとても緊張し、慣れない土地での試合にも不安がありました。選手団は各地区からトップ選手が集まり、事前合宿はハイレ

ベルで刺激的な時間になりました。同世代のトップ選手に混ざること、自分に足りない力をより明確に知ることができました。

大会では世界のトップレベルの選手と競い、慣れない環境での結果を出すことの難しさを感じました。日本の試合では感じることもできない多くの経験をすることができ、『当たり前』のありがたさを痛感しました。思うような結果とはなりませんでした。様々な面で大きな収穫を得ることができました。

来年度は2年生としてさらに飛躍の年にしたいと考えています。普段から応援やサポートをもらっている感謝を忘れずに一生懸命頑張ります。今後も応援よろしくお願います。



## クラブ活動記録

県大会については3位以上、東北大会は入賞者、全国大会は出場者を掲載

### 東北大会

#### 全国高等学校ライフル射撃選抜大会北海道・東北ブロック大会

ライフル射撃部(宮の沢屋内射撃場:12/16~12/17)

BR60J	3位	遠田 悠翔(安積二)
BR60J		湯斗斗喜也(鮫川) 黒子 遼人(安積)
BR60WJ		佐藤 愛珠(白河中央) 菱沼 未来(安積二)
		深沢 美帆(郡山一)
BP60J		村上 安貴(郡山四) 川越 琉惺(郡山五)
BP60WJ	3位	菱沼 未来(安積二)
BP60WJ		緑川 智子(棚倉)

#### 第31回東北高等学校体操競技選抜大会

体操部(あづま総合体育館:11/17~18)

男子個人 出場 渡部 琉成(郡山三)

### 全国大会

#### 第1回ドリームガールズ杯

相撲部(すみだフットサルアリーナ:2/11)

軽量級

関下 爽夏(福大附属)

#### 第43回 全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会

ライフル射撃部(つつがライフル射撃場:3/22~3/24)

BR60J 遠田 悠翔(安積二)

### 県大会

#### 第43回福島県高等学校選抜剣道優勝大会

剣道部(いわき市立総合体育館:1/20)

男子団体

3位 吉田 克(白河中央) 五十嵐広洋(須賀川二)  
桑名 優輝(郡山一) 吉田 仁輝(石川)  
喜多見一輝(郡山一) 添田 遥斗(白河中央)  
渡邊 滯(明健) 野澤 史貴(ひらた清風)

※( )は出身中